

# 西根

日本太鼓ジュニアコンクール県予選は11月6日、玉山村の姫神ホールで開かれ、市内から3団体が出場しました。出場したのは、杉の子保育園さくら組、松川一の宮太鼓つばみ組、同はな組（いずれも西根地区）など、県内から11団体。全国大会への切符一枚を懸けて精いっぱい太鼓を響かせました。審査の結果、松川一の宮太鼓はな組が、藤原若潮太鼓（宮古市）に続き、2位に入賞しました。



初出場の杉の子保育園のみんなも張り切りしました



火災に巻き込まれた住民の救出訓練をする消防職員

家庭からの火災の未然予防と消火活動の体制を再確認しようと11月13日、西根寺田地区で火災防御訓練が行われました。消防団員や消防職員、地域住民など約100人が参加。秋季全国火災予防運動の11月9日～15日に合わせて開催したもので、火災を想定して消防団員たちが放水訓練を行ったほか、地域住民も初期消火訓練を実施し、消火器の正しい使い方を学びました。

## 全国への切符懸け、太鼓ジュニアコンクール

大更小学校の児童で組織する「いきいき文化クラブ」は10月30日、フーガの広場前の側溝のふたに西根地区の特産品や風景などを描きました。同クラブは、「西根町の宝を街に描こう」と題して、新市誕生を機に未来に残したい旧西根町の宝を再発見し、目に見える形で残そうと事業を展開。側溝のふたに絵をかこう、シートに大きく絵をかこう、石のモニュメントを作ろうの3事業を本年度の記念事業

として進めてきました。この日は、側溝のふたに宝を描くイベントを開催し、児童や保護者、地域の住民など約50人が参加しました。参加者は約250区間の側溝のふた約100枚に、ペンキで思い思いの絵を描きました。宝は、特産のホウレンソウや地酒、岩手山、ムラサキの花など12種類。児童たちは、事前に準備した数種類のシートを使いながら、ペンキで丁寧に宝を描きました。



西根地区特産のホウレンソウや、旧西根町の花「ムラサキ」など、12種類の「宝」を約250区にわたって側溝のふたに描きました

## もしもの時のために…火災防御訓練を実施

## 合併しても誇りに思う、地域の「宝」を未来へ

# 八幡平市

## 八幡平市を起点とした縄文サミットを開催

第1回未知の国縄文街道首長サミットは11月15日、八幡平ロイヤルホテルで開かれ、北東北3県4市町の首長、文化人が対談。「未知の国からの発信、甦れ！縄文の心と恵を結ぶ道」をテーマに、各地の遺跡や豊かな自然景観を結んだ北東北の連携について考えました。

特定非営利活動法人「風景



「縄文街道」沿線市町の4首長を招き、それぞれの歴史や自然、地域づくりについて説明し、広域連携の大切さなどの意見交換が行われました



イメージソングを合唱する松野小の5年生

の生命を守る地域づくりネットワーク」（田村麗丘代表理事）の主催。市民など関係者約120人が参加しました。第1部は、盛岡市出身の作家・高橋克彦さんなど3人が対談しました。高橋さんは「負けた側の東北の歴史は紹介されていないが、重要な文化があった」と解説しました。第2部は田村正彦市長、清川明彬浄法寺町長、秋田県の川口博小坂町長、青森県の二川原和男大鰐町長などが意見を交換。それぞれの歴史や自然、地域づくりを説明し、広域連携の大切さを訴えました。第3部は松野小5年生の児童が、作詞作業に協力した縄文街道のイメージソングを合唱しました。

## 世界平和への願いを筆に込めて描く

平和について考えてもらおうと、西根ライオンズクラブは平和ポスターコンテストを実施し、11月8日に西根町商工会館で表彰式を行いました。今年のテーマは「平和は国境を越えて」。西根、松尾地区の小・中学校から253点の応募があり、15人が入賞しました。最優秀賞受賞者は次のとおりです。（敬称略）



平和ポスターコンテスト表彰式に出席した皆さん

## 男女が共に手を携えてつくる社会を目指し



設立総会などは、ふれあい文化伝承館で開催されました

地域社会における男女共同参画社会の実現と普及・啓もう活動を進めようと、八幡平市男女共同参画ネットワークは11月5日、設立総会と講演会を開催しました。総会には約40人が出席。中軽米こう子さん（松尾寄木）を会長に互選し、会則が承認されました。講演会では、県立大学の吉野英岐助教授が「新市では、男女共同参画の視点から、多分野の地域づくりが効果的」とエールを送りました。



# 安代



楽しみながらラリーを繰り返す参加者

ラリーボールフェスタ2005は11月12日、安代若者センターで開催されました。ラリーボールは、卓球のボールよりも軽く、直径で4ミリの大きい44ミリのボールを使用。ネットも少し高くなっているため、スピードも遅く、初心者でも長くラリーを続けることができます。生涯スポーツで、近年愛好者が増加しています。参加者は、楽しみながらも熱いラリーを繰り返して、心地よい汗を流しました。

## 長いラリーを楽しみながら健康増進を図る

県卓越技能者・県勤労者の表彰は11月14日、盛岡市で行われ、安比塗漆器工房に勤務する藤森由美子さん(37歳、寺志田)が、青年卓越技能者を受賞しました。

藤森さんは安代漆工技術研究センター、安比塗漆器工房で12年間漆器製造に従事。「身近に勉強できる施設があり、環境に恵まれていた。これからは地域に根差した漆器作りに日々努力したい」と受賞の喜びを語りました。



伝統技術を継承し、長年にわたり技術の向上に努めた藤森由美子さん

## 優れた技術と長年の努力が評価される



安代地域の伝統料理が並んだ食味会。参加者は普段味わえない料理の数々に大満足しました

安代町観光協会(盛内源栄会長)は10月30日、安比プラザで「あしろ庭じまい食味会」を開催しました。

安代地域の各家庭に伝わる味を広く紹介しようと今年で3回目の実施となる食味会に県内外から150人が参加しました。

会では、同地域の郷土料理をPRするため、主婦や民宿、ペンション経営者などが、山

菜やキノコなど地元の食材をふんだんに使った料理や新ソバを使った「手打ちそば」、具だくさんの「けんちん汁」など腕によりをかけたメニュー30品を振る舞いました。

農作業が終わるこのころ、参加者は冬を迎える準備が整うと大勢でごちそうを食べる安代地域伝統の収穫感謝行事「庭じまい」の雰囲気のもと、安代の味を堪能していました。

## 地元の食材使った郷土料理30品に舌鼓

# 松尾

## 松尾中が東北大会12年連続出場し銀賞獲得



曲目に合わせながら、統一感のある動きと躍動感のある演奏を披露し、観客をわかせた松尾中学校吹奏楽部マーチングバンド(写真は10月2日、スポレクいわて2005開会式のアトラクション)

マーチングバンド・バトントワリング東北大会は11月5、6の両日、宮城県のグランディ21で開かれ、松尾中学校吹奏楽部(佐藤華奈部長、部員36人)がマーチングバンド部門で銀賞を獲得しました。

同校は10月9日に行われた岩手県北マーチングフェスティバルに出場し、東北大会への出場権を獲得。今年で12

年連続の出場となりました。マーチングは、演奏と動きの組み合わせで、音楽的・視覚的効果の調和を競う部門。7分の制限時間内に、統一感のある動きと正確な演奏力などが審査されました。

大会では、生徒たちが目指す観客と一体となったマーチングを披露し、観客をわかせました。

## 八幡平に大自然が作り出す霧氷の花開く

八幡平の頂上付近で11月1日、今シーズン初の本格的な霧氷が見られ、訪れた観光客の目を楽しませました。

霧氷は、木の枝に雪や氷が付着する自然現象。気温が氷点下になると、雪や空気中の水分が木々に吹き付けられて凍結してできるといわれています。山頂付近では、アオモリトドマツやダケカンバなどで霧氷が見られ、白い花を咲かせたような神秘的な光景が一面に広がりました。



大自然の神秘「霧氷」が一面に広がった八幡平山頂付近

## 認定農業者が交流を深め、農業振興に連携



グラウンドゴルフで交流を深める参加者

市内の認定農業者が相互の交流と連携を深めようと、八幡平市認定農業者スポーツ交流会は11月10日、松尾総合運動公園で行われました。

市内に在籍する362人(西根219、松尾64、安代79人)の認定農業者のうち、交流会には25人が参加しました。

参加者は、同公園内に常設しているグラウンドゴルフコースで汗を流し、交流を深めながら農業課題について情報交換なども行いました。